

TECHNICAL DATA

塗装仕様	カチオン系アクリル ポリマーセメントモルタル（二材型）
製品名	キクスイカチオン極

第1版 作成日：2020年 11月 9日



菊水化学工業株式会社

施工仕様書

塗装仕様：カチオン系アクリルポリマーセメントモルタル（二材型）
製品名：キクスイカチオン極
用途：下地調整薄塗、下地調整厚塗、断面修復（欠損補修）
下地：コンクリート・セメントモルタル・コンクリートブロック・ALCパネル等
部位：内外部の壁面・床面・柱・梁等

1. 工程表

(20℃)

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (hr)	所要量
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。				

●下地調整薄塗の場合（標準塗厚0～3mm）

下地調整	キクスイカチオン極 主材：12kg 混和液：3.6～4.0kg	ローラー 左官はけ コテ等	1 2	24以上 工程内 1以上	約9.5㎡/セット（1mm厚） 約1.7kg/㎡（1mm厚） 混練比重：約1.66kg/L 練上容量：約9.5L
------	---------------------------------------	---------------------	--------	--------------------	---

●下地調整厚塗の場合（標準塗厚3～10mm）

下地調整	キクスイカチオン極 主材：12kg 混和液：3.3～3.7kg	コテ等	1 2	24以上 工程内 1以上	約1.9㎡/セット（5mm厚） 約8.2kg/㎡（5mm厚） 混練比重：約1.63kg/L 練上容量：約9.5L
------	---------------------------------------	-----	--------	--------------------	---

●断面修復（欠損補修）の場合（標準塗厚0～50mm）

下地調整	キクスイカチオン極 主材：12kg 混和液：3.0～3.4kg	コテ ヘラ 手詰め等	1 2	24以上 工程内 1以上	約0.19㎡/セット（50mm厚） 約80kg/㎡（50mm厚） 混練比重：約1.60kg/L 練上容量：約9.5L
------	---------------------------------------	------------------	--------	--------------------	---

練り混ぜ後の可使用時間：1時間以内（20℃）

※ 溶剤製品を次工程に施工する場合、72時間（20℃）以上の乾燥養生時間を設けてください。

注1 施工用具・条件は代表的なものです。

注2 間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

注3 所要量の確認は塗見本との比較または単位面積当たりの使用量で確認してください。

2. 材料荷姿

下地調整材：キクスイカチオン極

主 材 NET：12kg/ビニール袋

混和液 NET：4kg/ポリ

} ペール缶入り

3. 施工要領

3-1. 素地調整

- 素地の乾燥は、十分に行ってください。
- 汚れおよび付着物は、ワイヤーブラシ・研磨紙・布等で除去し、必要に応じて水洗いを行ってください。
- 旧塗膜の浮き・剥がれ・チョーキングは除去してから施工してください。
- 下地面に残留する金属（番線・釘等）は除去してください。
- 吸い込みの大きい下地（モルタル下地）の場合は水湿しを行うか、吸水調整材「モルパット45」を塗布してください。

3-2. 材料の混ぜ合わせ

- 施工仕様書の調合割合で粉体と混和液を容器に計量し、ダマが残らないように高速ハンドミキサー等を使用して3分以上練り混ぜてください。
- 練り水及び希釈水は使用せず、塗厚や使用目的に応じて混和液の量で調整してください。混和液量を変えることで0～50mmまで塗厚の調整が可能です。
- 練り混ぜ後、可使時間以内に使い切ってください。また、可使時間は温度、混和液量によって変わりますので、練り混ぜ後はなるべく早く使い切ってください。
- 可使時間の過ぎた材料を、練り直して再度使用しないでください。
- 練り足し、水を加えての練り戻しはしないでください。
- 既調合タイプの製品に現場で、セメント、砂等の指定材料以外を加えないでください。
- 施工箇所が高温である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管してください。

3-3. 施工

- 施工厚みに応じて施工用具を選定し、所定の厚みに塗り広げてください。
- 下地の不陸が大きいときは、初めに刷り込むようにして不陸調整を行い、最後に均一な厚みに塗り付けてください。
- 塗り付け後、直射日光・通風・急激な乾燥・降雨・降雪・凍害等を避け、材料が正常に硬化するまで、養生を継続してください。
また、必要に応じてシート養生や採暖等を行ってください。
(特に、初期養生時の急激な乾燥により、表面にヘアークラックが生じる可能性があります。)

成分表

下地調整材：キクスイカチオン極

《主 材》

内 容	重 量 (%)
ポルトランドセメント	50~60
骨材	25~35
軽量骨材	5~10
再乳化形粉末樹脂（カチオン系アクリル樹脂）	1~3
その他（添加剤等）	1~2
計	100.0

《混和液》

内 容	重 量 (%)
カチオン系アクリル樹脂エマルジョン	8~10
水	90~92
計	100.0

性能試験成績書（１）

塗装仕様	カチオン系ポリマーセメント下地調整薄塗材（二材型）	
製品名	キクスイカチオン極	
供試材料	キクスイカチオン極	
調合割合	主材：混和液＝12kg：3.8kg	
試験方法	JIS A 6916－2014に準拠（下地調整塗材 C－2）	
試験項目		結果
軟度変化（％）	-20～20	
耐ひび割れ性	ひび割れない。	
耐衝撃性	ひび割れ及び剥がれがない。	
付着強さ （N/mm ² ）	標準養生	1.0以上
	低温養生	0.7以上
吸水量（g）	1.0以下	
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性 （N/mm ² ）	割れ、膨れ及びひびは垂れたなく、 付着強さは1.0以上とする。 ただし、仕上塗材だけで破断した場合は 0.7以上とする。	
—以下余白—		

* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

性能試験成績書（２）

塗装仕様	カチオン系ポリマーセメント下地調整厚塗材（二材型）	
製品名	キクスイカチオン極	
供試材料	キクスイカチオン極	
調合割合	主材：混和液＝12kg：3.5kg	
試験方法	JIS A 6916－2014に準拠（下地調整塗材 CM－2）	
試験項目		結果
軟度変化（％）	-20～20	3.2
耐ひび割れ性	ひび割れない。	合格
耐衝撃性	ひび割れ及び剥がれない。	合格
曲げ強さ（N/mm ² ）	5.0以上	6.4
圧縮強さ（N/mm ² ）	10.0以上	25.6
付着強さ （N/mm ² ）	標準養生	1.0以上
	低温養生	0.7以上
吸水量（g）	2.0以下	1.96
透水量（mL/h）	0.5以下	0.4
長さ変化（％）	0.15以下	0.14
仕上材が 複層仕上塗材の 場合の耐久性 （N/mm ² ）	割れ、膨れ及びは垂れたなく、 付着強さは1.0以上とする。 ただし、仕上塗材だけで破断した場合は 0.7以上とする。	合格 1.3
仕上材が セラミックタイルの 場合の耐久性 （N/mm ² ）	0.6以上	1.3
—以下余白—		

* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承下さい。

性能試験成績書(3)

塗装仕様	カチオン系ポリマーセメント下地調整厚塗材(二材型)	
製品名	キクスイカチオン極	
供試材料	キクスイカチオン極	
調合割合	主材：混和液=12kg：3.2kg	
試験方法	建築改修工事管理指針令和元年版 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) 第4章 外壁改修工事 9節 鉄筋コンクリートの鉄筋腐食の補修 「断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)」に準拠	
試験項目		結果
曲げ強さ(N/mm ²)	6.0以上	6.8(材齢28日)
圧縮強さ(N/mm ²)	20.0以上	27.1(材齢28日)
付着強さ (N/mm ²)	標準養生	1.0以上
	温冷繰り返し後	1.0以上
吸水量(g)	20.0以下	16.2
透水量(mL/h)	0.5以下	0.4
長さ変化(%)	0.15以下	0.13
—以下余白—		

* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承下さい。

施工上の注意事項

《下地》

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行なってください。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。

《環境》

- 夏期など、特に気温が高い場合や下地の吸い込みが著しい場合はドライアウトの原因となります。適当な水湿し、または下塗りを行ってください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合、（高湿度、結露、降雨等）塗膜表面が白化する場合があります。施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
- 外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

《施工》

- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 表面に白華が発生した場合はブラシ等により除去してから次工程の作業を行ってください。
- 施工箇所が高温である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管してください。
- 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
- 溶剤形の下塗を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。

《保管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 製品は、湿気に注意し、水がかりを避け、パレットの上に置き、なるべく乾燥した屋内に保管してください。

安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート：JEMSDS)を参照してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹼で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて医師のください。
- 火気、スパーク等の発火源があると、粉じん爆発の恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 取扱い中は、粉じんがたたないように注意し、また、取扱い後は密閉した容器に保管してください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあります危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようになしてください。